

輸血を必要としている方の命を救うボランティア

街頭献血

×

寒い冬こそ助け合い



体重測定



医師が血圧・脈拍を確認



血色素量(ヘモグロビン濃度)を測定

献血バスを見かけたらぜひ、ご協力を!



今の主力層は40～60代。献血は16歳からできます。若い皆さんもお待ちしています



北海道赤十字血液センター
鎌田泰成 さん



いよいよ採血!

市民記者
井出美沙さん



プロフィール■小学3年生から石狩市に暮らし、現在は市内の旅行会社アミーケ・インターナショナル(株)に勤務。市内でのバスツアーや体験プログラムを行う仕事を通して出会った人々や場所の魅力を伝えたいという思いから市民記者として活動しています。

こんにちは、市民記者の井出です。今回、私が取材したのは「街頭献血」。皆さんは献血に協力したことはありませんか?

市役所やりんくる、スーパーなどの駐車場で見かける献血バスですが、「車内が見えない分、ちよつと不安...」という方も。そこで撮影してきました! 車内はとても機能的な構造で、医師1人に看護師4人という万全の体制なので、初めてでも安心して採血が受けられます。

北海道赤十字血液センターの鎌田泰成さんにお話を伺うと、「毎日、いろんな地域で献血バスが走っています。道内では1日約700人分の献血が必要と言われていて、1台当たり約50人のご協力があると、病院に安定して輸血用の血液を届けることができます」と教えてくれました。

採血した血液は、精密な検査を経て、血液成分ごとに分離が行われ血液製剤となり、適切な温度下で保管されますが、使用期限は短く、常に新しい血液が求められます。だからこそ、献血は尊い命を守るための究極のボランティアとも言えるでしょう。寒い冬は外出を控える人も多く、血液不足が深刻に...。今こそ、皆さんの温かいご協力をよろしくお願いします!

広告

広告